※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和５年度　体育科

教科	体育	科目	チャンピオンシップスポーツⅠ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	現代高等保健体育　（大修館出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

a 心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
b 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。
C 健康や安全を確保し主体的に学習に取り組み、自他の技能を客観的に判断する能力を養い公正な態度を身に着ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 運動技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。	自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1・2・3学期	個々の専門種目	設定種目 ・陸上競技 ・バレーボール ・サッカー ・ソフトテニス (硬式野球・ダンス・ハンドボール・水泳・バスケットボール) 目標に応じた基本練習、 目標に応じたスキルテスト 実技テスト 筆記テスト	a: 各専門の特性に応じた、効率的な練習法を身に付けている。技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。 b: 運動を継続し、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。学習で得た成果を自ら応用・発展させ、競技結果につなげる自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:授業に対する積極性、集団への貢献度がある。健康安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。	受講態度の観察 ノート レポート	受講態度の観察 ノート レポート	受講態度の観察 ノート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度